

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1310606100131
施設名	うれしい保育園仲御徒町駅前
施設所在地	台東区台東3-45-4
法人名	株式会社ケア21

1. 活動のテーマ

<テーマ> 生き物

7月・8月・9月・10月・11月・12月

<テーマの設定理由>

保育園周りに寄って来る虫に興味を持つ子が多く、公園等でも虫探しを多くする子やクラスによっては飼育にも挑戦したいという声も聞こえた為

2. 活動スケジュール

7月頃から身近な生き物の飼育・観察
9月更に興味を深めて行く
10月幼児クラスの行き先を決める
11月実際に園外活動へ
12月展示会を行う

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

虫かご・虫網・飼育ケース・餌・図鑑等
画用紙・プロジェクター
各クラスでの飼育・玄関前でいつでも見られるものから始まり、幼児クラスは水族館や動物園へ興味をもって行った

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

玄関にカブトムシの成虫の飼育ケースを置く
えさやりやカブトムシが活動している様子の観察
2歳児 アゲハチョウの幼虫の飼育・観察
4歳 オタマジャクシの飼育・観察
5歳 ザリガニの飼育・観察
図鑑で調べるうちに大きな生き物にも興味を持ったためその中で3歳は動物に興味を持ち]
動物園へ行く
4・5歳児は水族館へ行く
その後保育園での展示会も行う

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

子ども一人一人の捉え方の違いをどのように話し合うか心配もあったが、相手の話をよく聞きまとめようとする子が出て来てくれた
展示会等を行う中で、自分の役割をお互いに分かっていて他のクラスの職員からの質問にもきちんと向き合い、他クラスの子にも説明を分かりやすく加えていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

興味のある子は飼育ケースの中を毎日観察し乳児クラスの子も図鑑で照らし合わせ虫の名前をどんどん覚えていく様子に感心した
幼児クラスも水族館へ行く前から図鑑等で調べたり映像を見ていたのに加えて水族館へ実際に行き間近で見たものを保育園の中でも再現しようと協力し合う様子に成長を感じた